

チームラボ監修の新スポットが工場街に誕生 自然や天候が織りなすアートが堪能できるカフェ



菓子缶メーカーの大阪製罐(株)(東大阪市岩田町)は、敷地内に「カンカン工場の草場のカフェ」と、デジタルアート集団「チームラボ」の作品「風と雨と太陽の草原」を昨年10月オープン。国内だけでなく海外からも来客がある同スポットは、元々駐車場等に使用していた土地300坪に新設されたもの。その内、100坪が新工場とカフェ、残り200坪がアート作品(草原)で構成されている。

「一般の人にとって閉鎖的な工場を、地域活性化のため、社会や地域に開かれた存在にしたいと考えていた時、知人の紹介でチームラボと出会い、草原を生かした誰でもアートに触れられる空間を作ろうと思いました」と清水社長。

コンセプトは、チームラボが提唱する「環境現象(環境によって現象が生まれ、現象そのもので作品の存在が生まれること)」で、自然や天候を活用した様々な仕掛けが隠されている。草原に設置された「太陽の階段」は自動でミスト状の水が噴射され、天候や時間など条件が揃った時に上ると、目の前に丸い虹が出

現。また、ガラスの廃材でできた岩石を二面に広げたエリアでは、日中は太陽の煌めき、夜は人の動きや雨に反応して色が変わるライトアップ等、時間帯や天候で様々な作品が生まれる。店内で提供されるスイーツは兵庫県武庫之庄の人気パティスリー「リビエール」の西剛紀氏が監修。自然が織りなす幻想的なアートを眺めながらの至高のカフェタイムを堪能してみては。

所在地…東大阪市若江東町1-1-15
営業時間 昼カフェ…10時から15時30分
夜カフェ…18時から21時30分
定休日…火・水



▲店内から見える夜の草原風景